

キツリフネソウが咲きました

杉並区成田東1丁目の山口和久（やまぐちかずひさ）さん（82歳）宅では、キツリフネソウの可憐な花が咲き、近所の人々の目を楽しませています。

キツリフネソウは、高い山岳地の湿地の木陰や水辺などに咲く花で、名前のとおり、帆をかけた小さな船に見える黄色の花を細い花柄からつるしているように見える、珍しい野草です。

そのキツリフネソウの種を、奥様の恵子さん（76歳）が、30年ほど前に知り合いの方から一粒譲り受け、大切に育ててきました。

今年も3月の初めに、1ミリほどの小さな種を蒔き、双葉に育ったものを庭や玄関までのアプローチに定植すると、5月の歴史的な暑さも乗り越え、今は背丈が1メートル以上に成長しました。黄色の可憐な花も、5月初めから咲き始め、近所の方々を楽しませています。



山口さんのキツリフネソウを見たいと思う方々は、近所だけに留まらず、都内をはじめ神奈川、千葉県にも広がり、この時期になると開花の問い合わせが入ります。こうした人の中には顔馴染みとなって、毎年再会を楽しみにする花を介した人の縁もできています。

山口和久さんは、「この花を眺めながら、気の置けない仲間と一杯やるのが楽しみです。蕾も、まだたくさんあって7月初旬までは花を見られるので、好きな人がいれば、ぜひ訪ねてもらいたい」と話していました。

[報道機関問い合わせ先]

区長室広報課 : TEL 3312-2111